

会 議 録

| | |
|--------|--|
| 会議の名称 | 平成30年度第1回茨木市総合教育会議 |
| 開催日時 | 平成31年2月1日(金) (午前(午後) 3時00分 開会) (午前(午後) 4時15分 閉会) |
| 開催場所 | 市役所南館8階 中会議室 |
| 議長 | 福岡 洋一(茨木市長) |
| 出席者 | 福岡 洋一(茨木市長) 岡田 祐一(教育長)、武内 由紀子(教育長職務代理者)、 片山 正敏(教育委員)、篠永 安秀(教育委員)、 堀村 佳奈子(教育委員) 【6名】 |
| 欠席者 | なし |
| 事務局職員 | 河井副市長、大塚副市長、秋元企画財政部長、岡こども育成部長、 乾教育総務部長、小川学校教育部長、岩崎政策企画課長、 玉谷教育総務部次長、小塩学務課長、西村学務課参事、 森本政策企画課長代理、小山教育政策課係長、三宅政策企画課職員 【13名】 |
| 開催形態 | 公開 |
| 議題(案件) | (1) 開 会 (2) 市長あいさつ (3) 報告案件 茨木市教育大綱の体系に沿った第5次茨木市総合計画における施策等評価結果について (4) 協議案件 中学校給食について (5) 閉 会 |
| 配布資料 | (1) 茨木市教育大綱の体系に沿った第5次茨木市総合計画における施策等評価結果 (2) 茨木市立中学校給食実施方式等の検討に係る調査業務報告書 (3) 茨木市教育大綱 |
| 傍聴人 | 10名 |

議 事 の 経 過

| 発言者 | 議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項 |
|------|---|
| 事務局 | <p>1 開会</p> <p>ただ今より「平成 30 年度 第 1 回茨木市総合教育会議」を開催する。 本日は傍聴者が 10 名おられ、会議は原則公開としており、既に傍聴者の皆さまには、入室していただいている。</p> |
| 福岡市長 | <p>2 市長あいさつ</p> <p>今回もこの総合教育会議を通じて、活発に意見交換を行い、教育委員会と市長部局との連携をより円滑に、より充実した形で推進していければと考えている。</p> |
| 福岡市長 | <p>3 茨木市教育大綱の体系に沿った第 5 次茨木市総合計画における施策等評価結果について</p> <p>茨木市教育大綱の体系に沿った第 5 次茨木市総合計画における施策等評価結果について、事務局から説明を求める。</p> |
| 事務局 | <p>【茨木市教育大綱の体系に沿った第 5 次茨木市総合計画における施策等評価結果について説明】</p> |
| 福岡市長 | <p>何か、ご質問、ご意見等は。＜意見なし＞ ご意見等がなければ、次の協議案件に進めさせていただく。</p> |
| 福岡市長 | <p>4 中学校給食について（協議案件）</p> <p>次に、協議案件の「中学校給食」について、事務局から説明を求める。</p> |
| 事務局 | <p>【中学校給食実施方式等の検討に係る調査業務報告書について説明】</p> |
| 福岡市長 | <p>事務局から中学校給食についての調査報告の説明があった。 各委員のみなさま、何か、ご意見等があればご発言をお願いします。</p> |
| 片山委員 | <p>調査報告は、専門の事業者がまとめたもので、知らなかった課題がたくさんあった。ただ、この報告書は「可能性がある」といった書きぶり、どの方式がよいのか、もう少し時間をかけて、検討する必要がある。 子どもたちに、おいしくて安全な、内容の伴った給食を提供するには、もっと話を詰めていく必要がある。</p> |

議 事 の 経 過

| 発言者 | 議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項 |
|----------------|--|
| 篠永委員 | <p>最後に課題が列挙されているが、答は出ていない。引き続き、協議し、話を進めていく必要がある。</p> <p>小学校の調理場で小学校分と中学校分の2回転で対応すると現場の流れが変わる。現場の声を聞いて、報告とすり合わせるなどの調整が必要である。</p> |
| 武内教育長 職務代理者 | <p>我々が大事にしているのは、特に、報告書の1ページにある「子どもたちが、将来、大人になった時に、食に関する社会環境の変化にも対応でき、健康で豊かな食生活を送るための基礎を培うことのできる環境づくりのために、学校給食を活用した、子どもたちの生きていく力、健康を作る力、食事を選ぶ力・作る力を育む食育の充実を図る」という考え方である。</p> <p>給食を通じて、子どもたちのいろいろな力を育む食育をどう達成するのかということをお大事にしたい。</p> <p>学校給食は、学校の教育活動の一部であり、給食によって、他の教育活動にしわ寄せが来ないように、考慮しなければならない。現場と意見もやりとりしながら、しっかりと議論する必要がある。</p> |
| 堀村委員 | <p>自校方式は課題が多いといったことなど、この報告書で論点がすっきりした。これから、さらに、学校現場の受け止め方を認識する必要がある。</p> <p>コスト面の試算やセンター方式なら交付金も期待できるといったことなど、情報収集が必要である。</p> |
| 岡田教育長 | <p>この報告書で、費用の問題について、一定報告ができた。</p> <p>これからは、学識経験者や保護者、市民、学校に関係のある人などからご意見をいただくため、市長が審議会を組織し、協議、答申をいただく予定である。この報告書では、教員の意見があまり聞けていないので、その辺りも踏まえて、検討会も設置し、方向性を出していきたい。</p> |
| 福岡市長 | <p>拙速すぎると、事を仕損じる。現場、教員のみなさんの給食に対する意見や気運を見ていかないといけない。</p> <p>審議会、検討会と会議を重ねるのは良いが、拙速で不十分になってしまうことは良くないので、きちんと進めていってほしい。引き続き検討をお願いします。</p> |
| 武内教育長 職務代理者 | <p>たとえば、市長から予算を一定確保してもらい、急いでスタートしても、将来的にどうなるか、見通しを立ててからでないと、ランニングコストで</p> |

議 事 の 経 過

| 発言者 | 議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項 |
|----------------|---|
| 片山委員 | <p>費用がかさみ過ぎてしまうこともありうる。いろいろな意見を聞くべきである。</p> <p>持続可能性を考え、将来人口動態や都市計画など大きなビジョンも踏まえる必要がある。慎重に事を進めないと、後で大変なことになる。</p> |
| 福岡市長 | <p>その他について</p> <p>次に、その他の話題に入らせていただく。</p> <p>最近、ニュースでも話題となっているいじめや虐待について、本市のスタンスはどのようなものなのか。</p> |
| 篠永委員 | <p>虐待やいじめのニュースはテレビで見ない日は無いというくらいであるが、委員として期待しているのが、教科となった道徳がどのくらい成果があるのかということである。時間がかかるとは思うが。</p> |
| 岡田教育長 | <p>今、本市の教員の平均年齢は20代であり、経験が浅い部分もあるので、子どもたち全員をしっかりと見ることができるよう、教育委員会がしっかりと支援し、現場にいる先生が余裕をもって対応できる環境をつくることが重要である。</p> <p>子どもにつけたい力として、粘り強く最後までやる力や共感力、忍耐力、リーダーシップといった「非認知能力」というものがあり、一生の財産となる力である。この力を伸ばすため、皆が誰かを、そして、一人ひとり認めていく集団づくりが必要である。また、集団の中で自分が役に立っている、また、必要とされているといった「自己有用感」も集団の中で培われる。いじめも集団の中で起こることであり、このような取組を進めることで、減っていくと思う。</p> <p>虐待は、学校も家庭を見て、親から子どもを守らないといけないというものであり、対応も難しいが、チーム学校として取り組むよう指導している。</p> |
| 福岡市長 | <p>予防に目を向け、若い先生に研修を行い、対応能力を高めていってほしい。</p> |
| 武内教育長 職務代理者 | <p>虐待やいじめは、当事者である子どもたちが認めない場合が多いが、今回報道されている事件では、子どもが訴えているのに学校で受けとめることができなかった。教員が仕事で忙殺され、子どもの変化を見逃すことが</p> |

議 事 の 経 過

| 発言者 | 議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項 |
|-------|--|
| 福岡市長 | <p>ないようにしていきたい。 アンケートや意見の中に隠されている本質（本当のこと）を発見できる環境づくりが必要である。</p> <p>最後に、不登校や引きこもりについて、考えを聞きたい。</p> |
| 岡田教育長 | <p>不登校や引きこもりはいろいろな境遇が重なって起きるが、現在は「本当にしんどかったら、学校に来なくても構わない。」といった考えが主流である。やはり、集団にどうしてもなじめない、また、障害のある子どももいる。しかしながら、集団の中で揉まれて育む力もあるので、友達の中で育ててほしい。</p> <p>最近、パソコンを使い、好きなときに休憩や相談ができるような、性格的にしんどい人が働きやすい企業が出てきている。</p> <p>少しずつでもしんどい人たちをつなぎ、不登校からニートにならないような後追いもできたらと考えている。</p> |
| 福岡市長 | <p>ユースプラザなど居場所づくりに努めているが、「どうして学校に行かないといけないのか」といった意見もあり、今後も、教育委員会と協議、連携を重ねながら、有益なものにしていきたいと考えている。</p> |
| 福岡市長 | <p>5 閉会 これをもって、第1回総合教育会議を終了する。</p> |